県南唯一の『がん温熱療法』施行施設

副作用や後遺症なし、併用治療で相乗効果を発揮

松橋耳鼻咽喉科・内科クリニック

院長
松吉 秀武
医学博士 日本耳鼻咽喉科学会専門医
日本耳鼻咽喉科学会認定補聴器相談医
日本気管食道科学会認定気管食道科専門医
日本めまい平衡医学会認定めまい相談医
日本めまい平衡医学会認定めまい専門会員
日本ハイパーサーミア学会会員
九州・山口地区ハイパーサーミア研究会世話人

熱に弱いがん細胞

近年、新たながん治療法として注目されているがん温熱療法（高周波ハイパーサーミア治療）。松橋耳鼻咽喉科・内科クリニックはこの治療が受けられる県南唯一の施設として、その存在が日増しに高まっている。

がん細胞は42～43℃に温度が上がると急速に壊死する一方、正常細胞は血管が拡張し、熱を逃すために、42～43℃に加熱しても傷害されることはない。この原理を利用してがん細胞の温度を上昇させ、殺細胞効果を高めようと考えられたのが、がん温熱療法だ。

正常組織にダメージを与えることなく、がんの病巣である領域を治療することができるため、副作用や後遺症がほとんどなく、放射線や抗がん剤治療などの効果を一層高めることが期待されている。

頭部と眼を除く“全部位”に対応

がんの温熱療法は標準治療（手術、放射線治療、抗がん剤治療）との併用で相乗効果を発揮するのが大きな特徴の一つ。「放射線治療や抗がん剤治療の併用によって、放射線や抗がん剤との効果を高めたり、体を温めることで免疫力を高めたりする効果が期待できます」と同クリニックの松吉秀武院長。

がん温熱療法は頭部、眼を除く全部位のがんに対応しており、早期のがんのみならず、再発がんや転移性のがんにも応用可能で、病状の安定や延命効果、症状の緩和などの効果が得られるほか、副作用がほとんどないため、治療を進めると、疼痛の緩和、食欲増進、体力の回復、気分が良くなる（疲労感や吐き気が減る）、よく眠れるなど、治療中のQOL（生活の質）の向上も実感できるという。

併用でがんと共存可能に

同クリニックでは年間約100件の温熱療法を実施。年間症例数は約100件にのぼる。進行性前立腺がんの患者に対するホルモン療法と温熱療法を併用した治療では、腫瘍マーカーが改善した例があるという。「子宮がんから肺に転移された患者さんに抗がん剤の点滴と温熱療法を併用し、がんの大きさがほぼ現状維持で日常生活を送り、仕事をされている例もあります。併用治療ががんとの共存を可能にします」と松吉院長はこれまでの治療実績を踏まえながら、その併用効果を力説する。

少量の抗がん剤と温熱療法を併用することで治療効果が増強するばかりか、耐性獲得で効果が見られなくなった抗がん剤の効果が復活する場合もあるという。さらに、脳内モルヒネとも言われるエンドルフィン（神経伝達物質）が分泌し、疲労や痛みを緩和することができ、切除不能膵がんでは化学療法単独だと198日だった中間生存日数が、温熱療法と化学療法（ジェムサール）を併用した場合は327日まで倍近く延びると報告されている（石川ら、2008年）。

最新鋭の温熱療法装置を導入

同クリニックでは最新のがん温熱療法を提供しようと、2015年2月に最新鋭の温熱療法装置（サーモトロンRF8 EX Edition、山本ビニター製）を導入。同時に大学病院などの抗がん剤治療や放射線治療当日の直前に温熱療法を行いたいという患者の“同日治療”のニーズに配慮し、午前8時から温熱療法の治療を開始した。現在の治療枠は平日35枠、土曜5枠の週40枠。治療は健康保険の適用があり、繰り返して何度も受けることができ、治療は1週間に1～2回、1回40分程度が目安になっている。

▲松橋耳鼻咽喉科・内科クリニックが導入した最新鋭のがん温熱療法装置

がん専門医が常駐

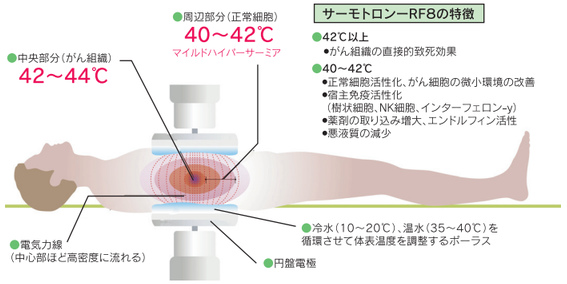
松吉院長は熊本大学医学部大学院で腫瘍免疫を研究し、山西貴大副院長はがん治療専門医。がん専門医が常駐する中、同クリニックでは温熱療法に加えて、化学療法にも力を入れている。今春にはがん治療をさらに充実させようと、全身用16列マルチスライスCTスキャンを導入。遠隔画像診断システムで、九州大学医学部放射線科グループを中心とした放射線科専門医による質の高い診断レポートを作成しており、適切な治療部位の判定と治療効果の向上に寄与している。

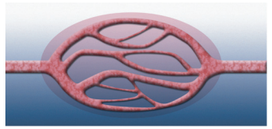
めまい診断・治療も柱 鼻の日帰り手術も注力

松橋町の新しい住宅街として街並みが一新された「きらら通り」。その通り沿いにある同クリニックは明るいガラス張りの斬新なデザインが特徴。今年で開業8周年を迎え、耳鼻咽喉科・内科、アレルギー科、生活習慣病科などを診療科目に、耳鼻咽喉科3人、内科1人の4人体制で診療にあたっている。

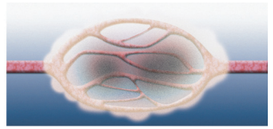
同クリニックはめまい診療も大きな柱。松吉院長は熊本唯一の「日本めまい平衡医学会認定めまい専門会員」として、めまいに関する臨床経験をもとに論文を発表し、その臨床データをもとに最善な方法でめまいの診断・治療に取り組んでいる。その他、睡眠時無呼吸外来、鼻の日帰り手術などに注力しながら、大学病院レベルの診療機器を備え、精度の高い診療システムを構築している。「今後もめまい診断・治療の専門クリニックとして、優れた人員、設備の拡充に努め、めまいで悩まれている患者さんの負担が少ない、やさしい医療の提供を目指します。がん温熱療法やがん免疫療法などのがん治療も充実させます」と松吉院長は結んだ。

＊人体加温イメージ＊





▲正常な組織に加温した場合
正常な組織は、血流の増加によって熱を逃がすので、温度が上昇しにくい



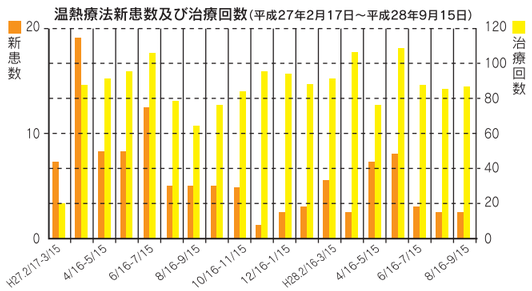
▲がん組織に加温した場合
がん組織は血流が増えないため、熱を逃がすことができず、その結果、血流が減少して温度が上昇し、栄養が行き渡らず死滅に向かう

▲松橋町の「きらら通り」沿いにある松橋耳鼻咽喉科・内科クリニック

温熱療法施行症例

原発性肺がん	18例
転移性肺がん	14例
乳がん	11例
頭頸部がん	10例
転移性肝がん	7例
原発性肝がん	7例
子宮がん	6例
膵がん	6例
胃がん	4例
前立腺がん	4例
食道がん	3例
腎がん	2例
卵巣がん	2例
胆管がん	2例
大腸がん	2例
その他	3例

温熱療法新患数及び治療回数（平成27年2月17日～平成28年9月15日）



松橋耳鼻咽喉科・内科クリニック
Matsubase Clinic

■診療時間

		午前	午後
耳鼻咽喉科	平日	9:00～13:00	14:00～18:00
	土曜	9:00～13:00	14:00～16:00
内科	平日	9:00～14:00	休診※
	土曜	9:00～14:00	休診※

※急患は院長が対応

診療科目
【耳鼻咽喉科】耳鼻咽喉科一般、めまい、小児耳鼻咽喉科、難聴、補聴器、腫瘍免疫（自家がんワクチン療法、丸山ワクチン療法）、高濃度ビタミンC療法、高周波による扁桃切除術、いびきに対する高周波治療【内科】内科一般、糖尿病内科、代謝内科、内分泌内科（甲状腺、下垂体、副腎疾患）、保険診療による禁煙外来【アレルギー科】アレルギー一般、鼻アレルギーに対するレーザー治療、高周波治療【生活習慣病科】高血圧、脂質異常症、高尿酸血症【健康診断】一般定期健康診断、特定健診、低線量CT肺がん健診、内視鏡、頭頸部がん健診（喉頭・咽頭・鼻腔）、睡眠時無呼吸診断、がん温熱療法（高周波ハイパーサーミア治療）、全身用CT完備

〒869-0503 宇城市松橋町きらら2-2-15　TEL 0964-33-4133
松橋耳鼻咽喉科・内科クリニック　検索